

平成 25 年度 学部 FD 推進事業報告書

標記のことに、以下のとおり報告いたします。

学 部 名	文学部
事 業 名	授業改善及びカリキュラム改訂の基本方針策定
平成 25 年度実務担当者名	矢部 健太郎
事 業 の 概 要	
<p>【計画性】当初計画通りに事業を推進できたか？（いずれかにチェック）</p> <p><input type="checkbox"/>計画通りであった <input checked="" type="checkbox"/>概ね計画通りであった <input type="checkbox"/>あまり計画通りではなかった <input type="checkbox"/>計画通りではなかった</p> <p>（以下、本年度の推進事業の概要について、年初「申請書」の「内容」「目的」「計画」、及び前記【計画性】の自己評価、さらに別添の「経費執行表」における予算の執行結果に照らして記入してください。）</p> <p>【目的】</p> <p>当事業は、平成 25 年 2 月に提出した「平成 25 年度『学部 FD 推進事業』申請書」に基づいて実施したものである。当事業の目的は、文学部独自の授業評価アンケートを作成・実施し、教育活動成果等の検証を行い、平成 26 年度以降の授業改善及びカリキュラム規定の基本方針を策定することであった。また、コンピテンシー診断結果の分析に関する説明、及びキャリアデザイン科目の制度設計に関する情報交換の機会として、FD 研修会も計画した。</p> <p>【内容】</p> <p>① 文学部学生専用のアンケートを実施する。全学的な授業アンケートと重複しない内容・形式での実施を目指す。具体的には、個別の授業に対する質問ではなく、また単なるマークシートでの回答方法ではないアンケートの作成を模索する。</p> <p>② 文学部 FD 研修会を実施する。</p> <p>【計画と計画性】</p> <p>① 平成 25 年度の前期より、文学部教務委員会においてアンケートに関する審議を重ね、9～10 月頃にはアンケートの内容・質問項目を決定し、11～12 月頃にはアンケートを配布・回収する予定であった。ただし先述のように、全学的に実施されている授業アンケートと重複しない内容にすること、具体的には、個々の授業内容ではなく、各学科のカリキュラムや履修状況などに関する学生の意識調査を目指すという試みは前例がないため、審議には予想以上の時間が必要となり、アンケートの質問事項が決定したのは 11 月末のこととなった。そのため、アンケートの実施は 12～1 月という学期末になってしまい、時間的な制約が生じた。</p> <p>② 文学部教務委員会において、FD 研修会の内容が審議された。その結果、キャリアデザイン科目の制度設計という重大事案に直結する内容の研修会が最も効果的、との結論に到った。キャリアデザイン科目担当のベネッセ社員との打合せを経て、コンピテンシー診断の結果・分析からみる文学部学生の特性、及びそれに基づく文学部用のキャリアデザイン科目の運用に関するレクチャーと意見交換の場として、平成 26 年 2 月に FD 研修会を実施した。なお、執行結果に残高があるのは、ベネッセ社員の協力により FD 研修会を無償で行うことができたためである。</p>	